

平成30年度 コミュニケーション英語Ⅲ シラバス

教科名：外国語 科目名：コミュニケーション英語Ⅲ 対象学年：3学年（1～6組） 単位数：4単位

使用教科書：Vivid English Communication Ⅲ (第一学習社)

学習の到達目標	英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする能力を伸ばす。 具体的言語活動は次の通り。 ア. 社会的な話題や時事問題，科学的・歴史的な話題等について書かれている説明や評論などを速読して，情報や考えなどの概要をとらえることができる。 イ. 主題を決め，様々な種類の文章を書くことができる。また，文章の構成を考えながら書くことができる。 ウ. 社会的な話題や時事問題，科学的・歴史的な話題等について話されている説明や対話，討論などを聞いて，情報や考えなどの概要をとらえることができる。 エ. 聞いたり読んだりしたこと，学んだことや経験したことに基づき，情報や考えなどをまとめ，発表することができる。
---------	---

評価の観点			
a. コミュニケーションへの関心・意欲・態度	b. 外国語表現の能力	c. 外国語理解の能力	d. 言語や文化についての知識・理解
コミュニケーションに関心をもち，積極的に言語活動を行い，コミュニケーションを図ろうとする。	外国語で話したり書いたりして，情報や考えなどを適切に伝えている。	外国語を聞いたり読んだりして，情報や考えなどを的確に理解している。	外国語の学習を通して，言語やその運用についての知識を身につけているとともに，その背景にある文化などを理解している。

年次・学期	月	種	学習項目	学習内容	a	b	c	d	評価の方法
1 学期	4 月	オリエンテーション		「コミュニケーション英語Ⅲ」の学習目標，学習上の留意点，使用教材，年間計画，評価方法，などについて説明する。					
		1 学期 中間 考 査	Get Ready 1	意味のまとまりで区切って理解しよう	○		○	○	・授業での取り組み
	Get Ready 2		代名詞が指す内容に注意して読もう	○		○	○	・授業での取り組み	
	5 月		Get Ready 3	つながりの語句に注意して読もう	○		○	○	・授業での取り組み
			Get Ready 4	パラグラフの主題文を見つけよう	○		○	○	・授業での取り組み
			Get Ready 5	文章の構成を考えよう	○		○	○	・授業での取り組み
	6 月	1 学期 期 末 考 査	Lesson 1 Happy Nations	<題材内容とねらい> ・コスタリカとブータンの例から，幸福を測る指標について読み取らせる。 ・幸福であるということはどういうことか考えさせる。 <文型・文法事項> 助動詞＋have＋過去分詞 / 独立不定詞を理解し，文を作ることができる。	○		○	○	・授業態度 ・発問評価 ・課題などの提出状況 ・評価問題 ・定期考査
			Lesson 2 “Gamification”: Games May Save the World	<題材内容とねらい> ・「ゲーミフィケーション」の理論と，それが私たちの生活に活用されている例を読み取らせる。 ・「ゲーミフィケーション」がもたらす効果について考えさせる。 <文型・文法事項> 省略 / 無生物主語を理解し，文を作ることができる。	○		○	○	・授業態度 ・発問評価 ・課題などの提出状況 ・評価問題 ・定期考査

科目・単元名	月	学年	学習項目	学習内容	a	b	c	d	評価の方法
	7月		Lesson 3 Spider Silk Spun into Violin Strings	<題材内容とねらい> ・クモの糸のできた弦が使われたバイオリンの特徴を読み取らせる。 ・クモの糸のもつ可能性について考えさせる。 <文型・文法事項> 代動詞 / 部分否定を理解し、文を作ることができる。	○		○	○	・授業態度 ・発問評価 ・課題などの提出状況 ・評価問題 ・定期考査
	第1学期の評価方法			<評価の対象> ①中間考査及び期末考査の成績、②Lesson 1～3の各課の評価問題の成績、③授業への取り組みの様子、④課題の提出状況と解答内容、⑤授業時間内に行うコミュニケーション・テストの実施状況。 評価の方法の観点別分類は別紙「評価の観点」に記載。					
2学期	9月	2学期中間考査	Lesson 4 A Girl Goes on Dancing	<題材内容とねらい> ・ローザンヌ国際バレエコンクールで優勝した菅井円加さんの活躍を読み取らせる。 ・菅井円加さんのバレエに取り組む姿勢について考えさせる。 <文型・文法事項> 完了形(受け身) / 分詞構文(過去分詞)を理解し、文を作ることができる。	○		○	○	・授業態度 ・発問評価 ・課題などの提出状況 ・評価問題 ・定期考査
			Lesson 5 Can Cellphone Recycling Help African Gorillas?	<題材内容とねらい> ・携帯電話のリサイクルがコンゴのゴリラとどのような関わりがあるかを読み取らせる。 ・生物や環境を守る取り組みについて考えさせる。 <文型・文法事項> It is said that ... / 比較級+and+比較級を理解し、文を作ることができる。	○		○	○	・授業態度 ・発問評価 ・課題などの提出状況 ・評価問題 ・定期考査
	10月		Lesson 6 Gagaku, the Music of the Universe	<題材内容とねらい> ・東儀秀樹さんの雅楽と日本文化についての考え方を読み取らせる。 ・自国の文化に対する理解を深め、雅楽の魅力について考えさせる。 <文型・文法事項> 分詞構文(完了形) / 関係副詞の非制限用法を理解し、文を作ることができる。	○		○	○	・授業態度 ・発問評価 ・課題などの提出状況 ・評価問題 ・定期考査
		2学期末考査	Lesson 7 Etymology: Wonders of Words	<題材内容とねらい> ・語の歴史や起源について読み取らせる。 ・英単語の語源や語義変化について考えさせる。 <文型・文法事項> 文修飾副詞 / 準否定語を理解し、文を作ることができる。	○		○	○	・授業態度 ・発問評価 ・課題などの提出状況 ・評価問題 ・定期考査
	11月		Lesson 8 A Lesson from Steve Jobs' Life	<題材内容とねらい> ・スティーブ・ジョブズの生き方や考え方を読み取らせる。 ・自分の人生を生き抜くことの大切さについて考えさせる。 <文型・文法事項> more A than B / 強調構文を理解し、文を作ることができる。	○		○	○	・授業態度 ・発問評価 ・課題などの提出状況 ・評価問題 ・定期考査

学年・学期	月	考査	学習項目	学習内容	a	b	c	d	評価の方法
			Lesson 9 Water: The Biggest Problem in the Century	<題材内容とねらい> ・世界で起こっている水危機の現状を読み取らせる。 ・水危機の解決のために自分たちにできることを考えさせる。 <文型・文法事項> 未来のことを表す仮定法 / if it were not for ... [if it had not been for ...] を理解し、文を作ることができる。	○ ○	○	○	○	・授業態度 ・発問評価 ・課題などの提出状況 ・評価問題 ・定期考査
	12月		Lesson 10 A Lucky Child	<題材内容とねらい> ・ホロコーストの悲劇を生き残ったトミー少年の人生を読み取らせる。 ・平和と人権の尊さについて考えさせる。 <文型・文法事項> have+O+過去分詞 / as if+仮定法を理解し、文を作ることができる。	○ ○ ○	○	○	○	・授業態度 ・発問評価 ・課題などの提出状況 ・評価問題 ・定期考査
			Further Reading 1 Information Please	<題材内容とねらい> ・既習の文法事項に関する知識を使いながら、長めの物語文を読ませて、その概要を読み取らせるとともに、英文読解の楽しさを体験させる。 ・出来事の推移、各場面における登場人物の心理などについて、読み取らせる。	○ ○	○	○	○	・授業態度 ・発問評価 ・課題などの提出状況 ・評価問題 ・定期考査
	第2学期の評価方法			<評価の対象> ①中間考査及び期末考査の成績、②Lesson 4～10の各課の評価問題の成績、③授業への取り組みの様子、④課題の提出状況と解答内容、⑤授業時間内に行うコミュニケーション・テストの実施状況。 評価の方法の観点別分類は別紙「評価の観点」に記載。					
3学期	1月	学年末考査	Further Reading 2 Becky and the Wolf	<題材内容とねらい> ・既習の文法事項に関する知識を使いながら、長めの物語文を読ませて、その概要を読み取らせるとともに、英文読解の楽しさを体験させる。 ・出来事の推移、各場面における登場人物の心理などについて、読み取らせる。	○ ○		○	○	・授業態度 ・発問評価 ・課題などの提出状況 ・評価問題 ・定期考査
	2月								
第3学期の評価方法			<評価の対象> ①学年末考査の成績、②Further Reading 1～2の各課の評価問題の成績、③授業への取り組みの様子、④課題の提出状況と解答内容、⑤授業時間内に行うコミュニケーション・テストの実施状況。 評価の方法の観点別分類は別紙「シラバス用参考資料」に記載。						
学年の評価方法				①コミュニケーションへの関心・意欲・態度、②表現の能力、③理解の能力、④言語や文化についての知識・理解の4つの観点から表した各学期の成績から総合的に判断して、年間の評価とする。					